

平成 30 年度  
第 1 回 北広島市食育推進懇談会議事録

■開催概要

日 時：平成 31 年 3 月 14 日（木） 午後 6 時 00 分～午後 7 時 30 分  
場 所：保健センター検査室（市役所 1 階）

1. 出席委員 仲川博子委員、鵜沼美恵子委員、高橋美千代委員、高屋健一郎委員、菅原聡委員、牧野沙知子委員、成田まゆみ委員、本間ひろみ委員
2. 欠席委員 東隆史委員、長島博子委員
3. 事務局 中屋直保健福祉部長、尾崎英輝健康推進課長、須貝初穂学校給食センター長、砂金和英農政課長、野切徑代健康推進課主査、木村綾香健康推進課主任
4. 傍聴人 なし

## 1. 開会

## 2. あいさつ（部長）

・この懇談会は、食育の推進方策、関係機関との連携など、食育の推進の取組に関して、意見交換を行う場として設置され、第2次食育推進計画に沿った今年度の取組について報告させていただく。

・現在、市議会会期中で来年度の予算を審議している。一般会計の予算が過去最大の264億円で、前年比30億円の増加である。ボールパーク関連のインフラ整理、福祉関連、災害復旧関係で大きく伸びている。2023年度のボールパーク開業に向け、本格的な動きとなる内容となっている。

・福祉関連では、福祉センターが建設中であり、6月末に移転予定で準備を進めている。移転を機に施設の設備・機能の充実も図っている。今後内覧会も予定しているので足を運んでいただきたい。

・平成33年度までの第2次食育推進計画が2年を経過し、その取組内容について、また市が進めている食育に関する施策について説明をさせていただくので、忌憚のないご意見をいただきたい。

## 3. 自己紹介

・各委員自己紹介、事務局紹介

## 4. 座長あいさつ

・部長からも話があったように北広島市の食育の推進について、このように皆様にお集まりいただいた機会なので、精力的に進行をしてまいりたいので、よろしく願いしたい。

## 5. 会議の公開

・会議の公開について異議なし

## 6. 議事

(1)食育推進計画（第2次）に係る平成30年度の進行状況報告について

座長：食育推進計画（第2次）に係る平成30年度の進行状況報告について事務局から説明をお願いしたい。

事務局：資料に基づき説明

座長：今の説明について、何か質問等あればお願いしたい。

委員：学校給食での食物アレルギー対応について、今年度からの確に実施されるということか。

事務局：小学校における食物アレルギー対応は現在できていない状況である。建物の老朽化と設備の問題がある。現在アレルギーによる誤食防止のため、保護者を対象にアレルギー調査を毎年実施し、重度のアレルギーをもつケースには保護者と密に連絡を取って、誤食防止に努めている。

座長：今後の見通しはあるのか。

事務局：次の議題で説明する。

委員：9ページのもったいない意識と食品ロス削減行動の啓発で、中学校における学校給食食べ残し調査があるが、どのような傾向か。

事務局：中学校に限らず、小学校でも実施している。主食・副食について残量割合を測定し、小学校には報告している。

座長：小学校にはペロリ賞の賞状が贈られる。賞を称えられた学級は、次も食べ残さない励みとなる。

委員：中学校では学校へフィードバックしていないが、好き嫌い志向の食べ方が多いので、味の調整や献立内容の工夫を図って、残量の数値を生かすよう努めている。

座長：他の内容での質問・意見はあるか。

委員：嫌いな物、食べたくない物でも味やバランスよく食べられる献立の工夫があり、楽しく食事をするための努力がされていることに感心した。子どもたちは幸せだと思う。

座長：他に質問等はあるか。

委員：7ページの豊かな食事を楽しむ項目の中の配食サービスについて、昨年比で利用者が減少傾向となっている原因は何か。

事務局：282名から260名の見込みであり、若干の減少である。食べ物の好き嫌いはあるものの、民間等の宅配業者の利用など選択肢が増えている状況である。このことを加味すると現状維持であるとの認識である。

座長：他にあるか。

3ページの豊かな食事を楽しむ項目の中の食農教室について、参加人数の受入れ規模はどの程度を見込んだのか。

事務局：今年度はできるだけ多くの参加を期待して実施回数を増やした。調理体験は会場の調理台数で受入れ人数が限られることから、増やした1回を調理体験ではなく、自然環境の循環の視点を取入れた講話と体験とし、受入れ数を増やした。今後も市内工場見学や体験、環境を含めた様々な要素を組み合わせた事業展開を図りたい。

座長：都市・農村交流施設が近い学校は、施設へ出かけ収穫体験ができる。多くの子どもたちが参加できるとよいと思う。

委員：施設に来ることでよいが、施設としては出向くことも考える。良い機会を作

っていただきたい。

委員：施設が出向いての協力は力強く、素晴らしい。

(2)食物アレルギーと新しい給食センター開設の進捗状況について

座長：食物アレルギーと新しい給食センター開設の進捗状況について、事務局から説明をお願いしたい。

事務局：資料に基づき説明。

座長：今の説明について、何か質問等あればお願いしたい。

委員：アレルギー症状が重度のため、アレルギーの対応ができる札幌の小学校へ引越した子がいた。子育てに適した良い環境の北広島であるのに、アレルギーの対応ができないことに悔しい思いを抱いた。新しく給食センターを建築することは良いことであるが、稼働をできるだけ早くしてほしい思いもある。

座長：また質問・意見はあるか。

委員：小中学校のアレルギー調査では、原因食材が果物も多いが、どのような果物が増えているのか。

事務局：知りえる範囲ではあるが、リンゴなどのバラ科の果物や桃が多い。

座長：アレルギー関係、給食センターについて、ご質問等あるか。

委員：小学校のアレルギー対応に代替持参が57とある。自分でお弁当を持参するという意味か。

事務局：お弁当に限らず、食べられる物を自分で持ってくる対応を指す。補足するが、給食停止は全く食べられない場合で完全に給食停止となる。この場合はお弁当を持ってくる。

委員：重度のアナフィラキシーやエピペン注射を持参している割合はどのくらいか。

事務局：正式な数字は給食センターでは押さえきれていない。

座長：教育委員会で把握されていると思われる。

(3)6次産業化等支援事業について

座長：6次産業化等支援事業について、事務局から説明をお願いしたい。

事務局：資料に基づき説明。

座長：今の説明について、何か質問等あればお願いしたい。

委員：特産品のお酒やお菓子などの商品は市民にPRしているのか。

事務局：平成29年度のグリーンツーリズム講演会&6次産業化と農商工連携の取組紹介や、平成31年3月5日に開催した北広島農泊フォーラムにて6次産業化商品などを紹介した。今後も周知を図りたい。

座長：市の補助金で育成しているので、様々な周知で商品が売れることで、企業や団

体が利益を得ると、市にも税金として納める好循環をつくれると思うので、ホームページでの情報発信はされているのか。

事務局：現在準備中で、今年度中にホームページ公開を考えている。今後しっかり周知したい。

座長：先日、某テレビ番組で北広島の店を放送しており、販売効果は抜群であると思う。周知も大事なので、都市・農村交流施設に商品を陳列する、道の駅があれば効果も高い、ボールパークとタイアップする等、色々なことを検討し、更なる6次産業化が高まるとよい。

委員：某テレビ番組に市内の店が出ていて、PR効果は高いと思う。

## 6. 意見交流

座長：各委員からも食育に関する取組や実践、普段から課題と考えられていること、感想など何かあればお願いしたい。

委員：食育の取組、6次産業化、アレルギーの話などを伺い、まだまだ勉強が必要。段々と時代が変化したり、食品表示のルールが決められ、実施が間近に迫ったり、アレルギーの子の対応も大事なことと実感した。今後、商品を販売する側も生産する側もアレルギーなどで不利益が起こることがないと良いと思う。取組を進めてほしい。

座長：孤食の減少・共食の推進に関連して、民生委員児童委員協議会の取組を紹介したい。民生委員児童委員協議会では、長期休暇中に子どもサロンを開催している。地区会館で小学生等を集め、昼食を一緒に楽しく調理し食す取組である。

他にエコクッキングについて、紹介をお願いしたい。

事務局：本日欠席した委員に代わって紹介する。エコクッキングは消費者協会が環境課と共催で毎年実施している。小学校に出向き、消費者協会会員が講師を務め、エコの大切さ、エネルギー消費を減らすため、ゼリーを冷蔵庫ではなく雪で冷やす体験、規格外エンジンの利用で地産地消を伝えている。また、昨年から親子クッキング教室を開催し、小学生の親子を対象に簡単にできるクッキングの中で、食べ物への感謝、地産地消の勧め、バランスよい食事を啓発している。参考にしていきたい。

座長：当学校もエコクッキングに参加した。3年生のクラスごと3回開催し、子どもたちの反応もよく良い企画であった。

委員：エコクッキングの開催回数や予算、利用のための手続きについて知りたい。

座長：環境課から学校に案内が届き、学校の希望で申し込む仕組みである。

事務局：小学生が対象であるが、希望があれば相談可能かと思われる。

委員：幼稚園児は難しいかもしれない。

座 長：本日の案件は全て終了。

事務局：いただいた意見を踏まえ、計画の進行管理に活かしていきたい。

(以上)